



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

資料 5

国際資本市場協会(ICMA)との共催カンファレンスについて

2022年10月
日本証券業協会



カンファレンスの概要

本協会では、グリーンボンド市場等の動向について日本市場関係者の理解を深め、日本市場の課題等を探る機会として、国際資本市場協会（ICMA）との共催で、2017年より、毎年、「ICMA&JSDA Annual Sustainable Bond Conference」を開催している。本年度は、**脱炭素社会の達成に向けたトランジションファイナンス**、近年、日本を含む国際的な資本市場で発行が増加する**サステナビリティ・リンク・ボンド**及び多様化する**グリーン/ソーシャルボンド等の用途限定型債券に焦点を当てたカンファレンス**を実会場での開催に加え、オンラインでも参加可能とするハイブリッド方式により開催する。

日程	2022年11月18日（金）13時00分～17時25分（日本時間）
タイトル	financing a decarbonized and fair society through Sustainable Bonds -サステナブルな債券による脱炭素かつ公正な社会に向けた資金調達-
会場	KABUTO ONE 及び ZOOMによるウェビナー
共同主催者	国際資本市場協会（ICMA）（※）、日本証券業協会
参加費	無料
参加申込み	ICMAウェブサイトより申込み (https://www.icmagroup.org/events/icma-jsda-sustainable-bond-conference-18-november-2022/)
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等を想定 実会場参加者：ソーシャルディスタンスを考慮し、200名程度の座席を用意 オンライン参加者：1,000人迄参加可能（ZOOMの機能に準拠）

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。
本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、これまでに5回、日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）を共催した。

2022年11月18日（金）13時00分～17時25分（日本時間）

オープニング スピーチ	森田 敏夫 日本証券業協会 会長 Bryan Pascoe, Chief Executive, ICMA（ビデオメッセージ）	
ゲストスピーチ1	グリーン・トランスフォーメーション（GX）	経済産業省
パネル1	クライメート・トランジション・ファイナンスを通じたカーボンニュートラルの実現に向けて	<モデレーター> BofA証券・ICMA <パネリスト> 外資系投資家（調整中）、経済産業省、CBI（気候債券イニシアティブ）、パナソニック、三菱UFJモルガンスタンレー証券
ゲストスピーチ2	欧州/グローバル動向のキャッチアップ	（調整中）
パネル2	資金使途特定型債券市場の発展とベストプラクティス（グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド等）	<モデレーター> ICMA <パネリスト> 日本格付研究所（JCR）、みずほ証券、グローバルサステナブル投資家（調整中）、外資系発行体（調整中）、日系発行体（調整中）
ゲストスピーチ3	グローバルな議論と日本の取組み	金融庁 長官
パネル3	サステナビリティ・リンク・ボンドの日本市場における発展	<モデレーター> 大和総研 <パネリスト> 環境省、JPモルガン（米国）、外資系発行体（調整中）、野村證券、PIMCO（米国）
クロージング スピーチ	Nicholas Pfaff, Deputy CEO and Head of Sustainable Finance, ICMA; Secretary of the Green Bond Principles (GBP) and the Social Bond Principles (SBP)	

エグゼクティブ・トレーニングコースの概要

「ICMA&JSDA Annual Sustainable Bond Conference」の前日には、主に今後グリーン／ソーシャルボンド、トランジションボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド等の発行を検討中の発行体等の実務担当者を対象に、各種原則等の策定に深く関わるICMAのスタッフが講師となり、サステナブルボンド発行にあたっての実務やグリーン／ソーシャルボンド原則のアップデート内容等についてご紹介する「Executive Training Course」を開催予定

日程	2022年11月17日（木）17時00分～19時00分（日本時間）
タイトル	Executive Training Course
会場	ZOOMによるウェビナー（日証協オフィスから配信）
共同主催者	国際資本市場協会（ICMA）、日本証券業協会
参加費	無料
コース内容	（歓迎の挨拶） Nicholas Pfaff, Deputy CEO and Head of Sustainable Finance, ICMA; Secretary of the Green Bond Principles (GBP) and the Social Bond Principles (SBP) （研修コース） Raymond Seager, Program Coordinator, ICMA ● サステナブルボンドに関する実務ガイド ● 2022年におけるグリーン／ソーシャルボンド原則及び関連ドキュメントのアップデート ● クライメート・トランジション・ファイナンス & サステナビリティ・リンク・ボンド ● Q&A （本年度より、研修資料を事前翻訳の上、参加者に配布予定）
参加者	主に発行体を想定しつつ、その他銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等の参加も予定 (昨年度参加者：176名)

【参考】これまでの開催実績

- 【2017年】


“グリーンボンド及び社会貢献債市場の発展-アジアの展望”
 日 時：2017年11月2日（木）
 場 所：虎ノ門ヒルズ森タワー5Fホール
 参加者：アジアの発行会社、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関、報道機関等 約400名

【2018年】


“グリーンボンド及びソーシャルボンド市場の発展-アジアの展望”
 日 時：2018年12月11日（火）
 場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間
 参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
 在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約550名（昨年比約40%増）

【2019年】


“日本とアジアのグリーン、ソーシャル及びサステナビリティボンド市場の発展”
 日 時：2019年10月9日（水）
 場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間
 参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
 在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約700名（前年比約30%増）

【2020年】


“コロナ禍において重要性を増す持続可能性に貢献する債券市場の発展－世界及び日本の展望”
 日 時：2020年11月13日（金）
 場 所：太陽生命日本橋ビル 26階 及び ZOOMによるウェビナー
 参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、在日大使館職員、
 その他の関係機関、報道機関等 約500名（うち430名オンライン）（前年比約30%減）

【2021年】


“いかに日本の債券市場が持続可能な社会に貢献できるか”
 日 時：2021年11月12日（金）
 場 所：ZOOMによるウェビナー
 参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、在日大使館職員、
 その他の関係機関、報道機関等 約600名（オンライン）（前年比約20%増）